

## 年頭のごあいさつ



茨城県知事  
茨城県統計協会総裁

竹内藤男

新春を迎え、皆様方のますますのご健勝を心からお祈り申し上げます。

昨年は、270万県民が身をもって体験した世紀の祭典「科学万博つくば'85」を成功のうちに幕を閉じることができました。この科学万博によって、常磐自動車道の都心との直結や日立北インターチェンジまでの開通、大洗鹿島線の開通、大洗港の整備に伴うカーフェリーの就航、幹線道路の整備など交通条件が飛躍的に改善され、霞ヶ浦導水事業や霞ヶ浦総合開発事業などによる水資源の確保などとあわせ、本県の発展基盤は一層強固なものとなりました。

県民総参加のシンボルとして出展した「いばらきパビリオン」では、全市町村の参加のもと、各種の催しが行われましたが、これにより、本県の風土に培われた伝統文化を再認識し伝承しようとする気運が高まりましたし、県民の連帯意識が大きく盛り上がりました。

さらに、県立こども病院や筑波メディカル病院のオープン、県立高校の整備など県民福祉の充実も順調にすすめることができました。

ここに、皆様方の温かいご支援、ご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

科学万博の成功によって本県は大きく発展することができるようになりましたので、本年は、これを新しいベースとして、21世紀の未来にはばたく茨城づくりを旨とし、県政の推進に全力で取り組む所存であります。

産業の振興につきましては、県内各地でハイテク工業化の気運が高まっておりますし、筑波やその周辺を中心にハイテク産業が次々と立地しようとしておりますので、上下水道の整備や快適で魅力ある街づくり、ハイテク時代に対応できる職業教育の充実や中小企業の振興、そして、良くなった交通条件を活かした観光産業の育成につとめてまいります。

農業につきましては、経営規模の拡大や銘柄化を一層すすめますとともに、バイオテクノロジーなど先端技術を取り入れた新しい農業の展開を図るシステムづくりに取り組んでまいります。

今や、国際化や高齢化が一段とすすみ、「こころ」の豊かさを求める時代となっております。このため、新しい美術館の建設をはじめとする文化環境の整備や文化活動の推進などにつとめ、茨城の文化づくりに取り組んでまいりたいと考えております。さらに、国際交流の機会を増やしてまいりますとともに、ボランティア活動の推進や健康づくり、老人の生きがい対策など保健福祉の充実につとめてまいります。

また、県内各地域の振興につきましては、グリーンふるさと振興機構を活用した県北山間地域の振興や本県全体の発展につながる常陸那珂地区の開発をすすめますとともに、北関東横断道路や常磐新線、首都圏中央連絡道路の建設など今後の本県発展の基礎となる新しい基盤づくりに取り組む所存であります。

本年も、依然として厳しい財政状況にありますが、行財政の効率化をさらに進めながら、県土の発展と県民福祉の充実に全力で取り組む決意であります。

今後とも、皆様方の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 新年のごあいさつ



茨城県企画部長  
茨城県統計協会会長

小 鷲 茂

新年あけましておめでとうございます。

昭和61年の新春を迎えるにあたり、皆様方のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃統計行政にお寄せいただきありがとうございますご支援、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

昨年は、毎年実施されている統計調査のほか、国勢調査をはじめとして、農業センサス、商業統計調査などの大規模統計調査が行われ、いわば統計のあたり年でありましたが、調査の第一線でご活躍された統計調査員をはじめ市町村統計関係者の絶大なるご協力により無事完遂することができました。皆様方のご苦勞に対しまして、心から敬意を表する次第です。

さて、近年における我が国の社会経済情勢は、高齢化社会、情報化社会の到来、あるいは貿易摩擦、産業構造の変化などにより著しく変ぼうしてきております。

こうした時代の流れの中で、本県におきましては、昨年、茨城にとってかつてない国際的な大イベントである「国際科学技術博覧会」が筑波研究学園都市で開催され、皆様のご協力により6ヵ月間の会期を成功裡に終えることができました。ここに厚く感謝しお礼申し上げます。これを契機に、本県は21世紀に向かってさらに大きく躍進しようとしております。

現在、県では、昭和61年度を初年度とし、昭和65年度を目標年度とする新しい5ヵ年計画を策定中であります。この計画は、21世紀という新しい時代に向け、地域の特性と多様な活力を生かした地域づくりを目指すための、県政の指針となるものです。このような基本計画の策定や諸施策の推進のためには、正確な現状把握と的確な将来予測が不可欠であり、その基礎資料となる統計の果たす役割は、今後ますます重要なものと確信する次第であります。

一方、プライバシー意識の高まりや統計に対する理解の不足などにより、統計調査をとりまく環境はますます厳しいものとなってきているのも現実であります。また、社会経済情勢の変化に対応した広範でかつ緻密な統計データの必要性や統計情報の入手方法など、統計に対する時代の要請も多様化しておりますので、県といたしましても、統計環境をさらに改善し、必要な統計をより早く、より正確に、そしてより多く活用されるよう県民の期待に応えていきたいと考えております。

本年も、事業所統計調査及び農業基本調査等の大規模統計調査が行われる予定です。どうか皆様方におかれましても、統計のもつ社会的意義と使命を十分認識され、本県統計事業発展のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げまして新年のごあいさつといたします。